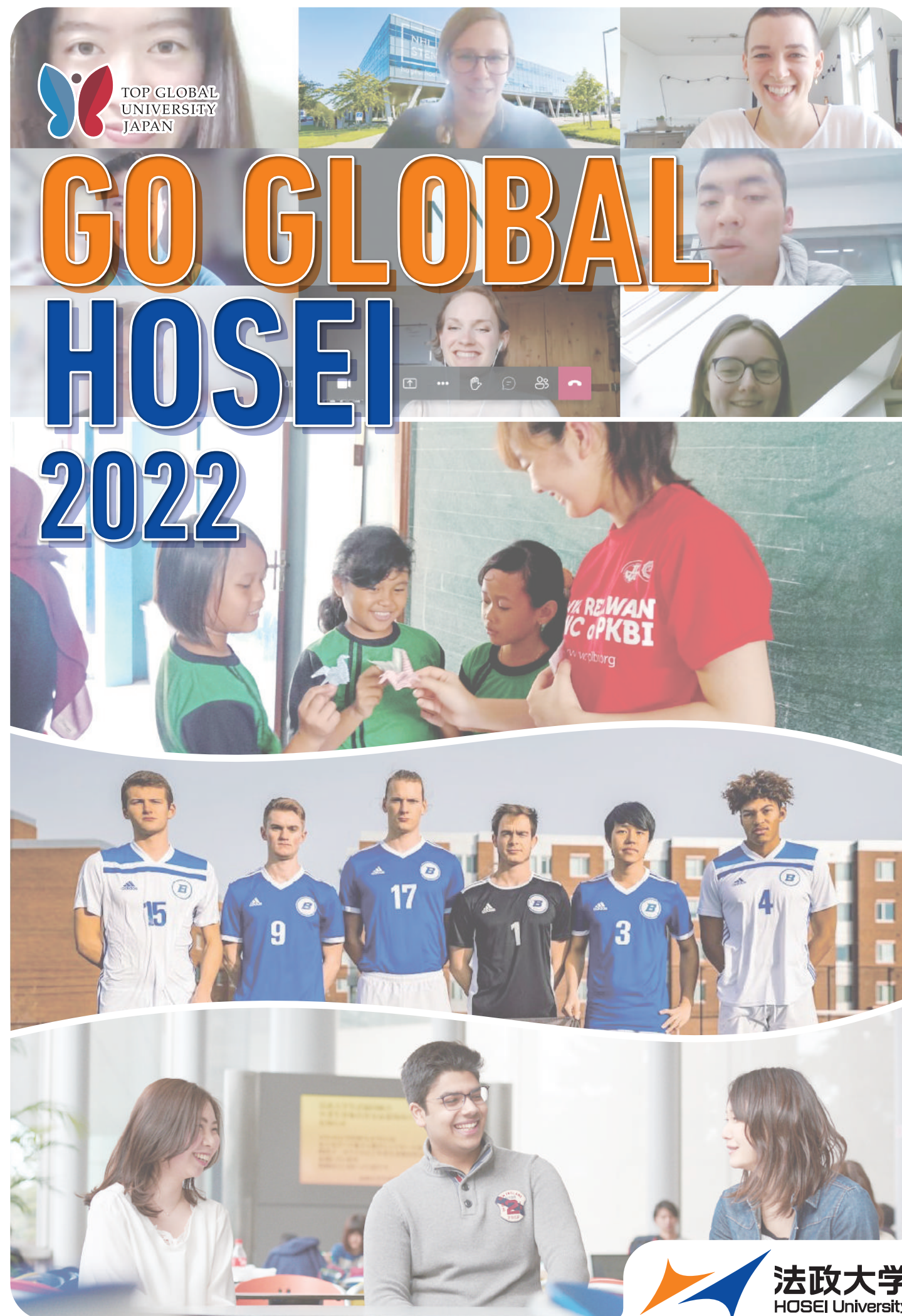




法政大学 グローバル教育センター事務部

〒102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1
TEL : 03-3264-4088 E-mail : globaledu@hosei.ac.jp
<https://www.global.hosei.ac.jp/>

2022年3月発行





スーパーグローバル大学創成支援

我が国の高等教育の国際競争力の向上及びグローバル人材の育成を図るため、世界トップレベルの大学との交流・連携を実現、加速するためのシステムの改革や、学生のグローバル対応力育成のための体制強化など、国際化を徹底して進める大学を重点支援する文部科学省の事業。全国の国公私立大学から、本学を含め37校が採択されています。

2020年より猛威を振るう新型コロナウイルスは今なお収束することなく社会や経済に大きな影響を与えています。

大学教育の現場では、授業はオンライン型が主流となり、多国間移動は現在も各国の水際対策によって制限が厳しく、従来の国際プログラムの実施は難しくなりました。

そんな困難な状況下においても、本学は歩みを止めることなく、引き続き「グローバル化」を進めるため、オンラインやハイフレックス型（対面+オンライン）の“国際プログラム”を構築して、2021年度も学生に様々な国際教育の場を提供してきました。

本冊子では、本学がこれまで培ってきた「自由と進歩」の精神に基づき、変化を恐れず、常に挑戦し続ける本学の国際プログラムの一部を紹介いたします。

INDEX

巻頭	01～02
法政大学のグローバル化へのビジョン	03～04
グローバル人材育成のイメージ	05～06
語学教育プログラム	07～08
国際交流プログラム	09～10
外国人留学生の受入れ	11～12
学生の海外派遣	13～15
オンライン留学・交流会実施状況と国際キャリア支援プログラム	16
海外交流協定大学	17～18

法政大学 総長
廣瀬 克哉

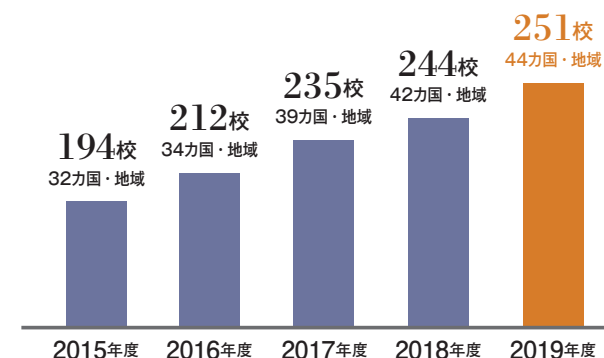


本学は2014年に文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援事業」に採択され、2022年度で9年目を迎えます。海外協定校数の増加や奨学金制度の制定、英語で学位を取得出来るコースの新設など、より多くの学生がグローバルな経験を得られるよう環境を整えてきました。2021年度も新型コロナウイルス感染症の影響によって国境を越えた人の移動は難しくなりましたが、オンラインの普及などにより、これまでとは違う交流の可能性が現実のものとなりました。新たな方法が拓くグローバルな学習機会は従来以上に多くの学生が参加可能なものです。制約のある状況だからこそ、学生それぞれが可能な方法を見つけだし、学習を続けていくことは、まさに法政大学憲章の掲げる「自由を生き抜く実践知」つまり、それぞれが生きる現実の中で、自由を生き抜くことを理解し、その実現のために課題解決を続ける知性を体現しています。これからも本学はスーパーグローバル大学構想や法政大学憲章等に基づき、さらに進化し続けていきます。

本学では、大学間の交流促進のため、現在47の国や地域、260大学・機関と協定を締結しています。2021年度は新型コロナウイルス感染症の影響によって、留学生の受け入れ・送り出しが困難となりましたが、本学の外国人留学生数は2019年度までの過去5年間で472名増加し、海外留学者数は590名増加しました。また、英語で開講されている科目数は、2021年度時点で716科目にのぼり、国境を越えた国際交流だけでなく、キャンパス内の国際化を推進しています。

● 協定校数および協定国・地域数の推移

※学術一般協定・学生交換協定・研究者交換協定・スタディ・アブロードプログラム協定・大学院での各種箇所間協定等を締結している大学・機関の合計



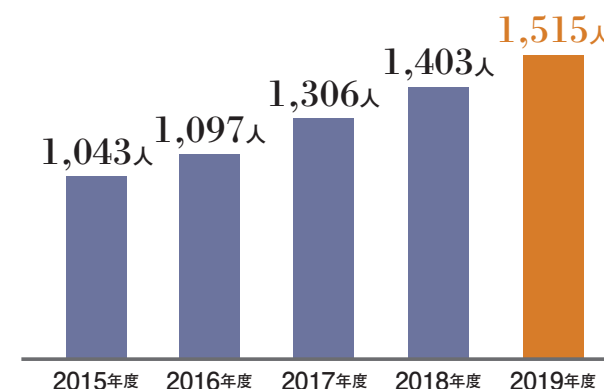
● 英語で開講されている科目数

※ERP科目、グローバル・オープン科目、ESOP科目、英語学位プログラム科目の合計

2021年度 **716** 科目

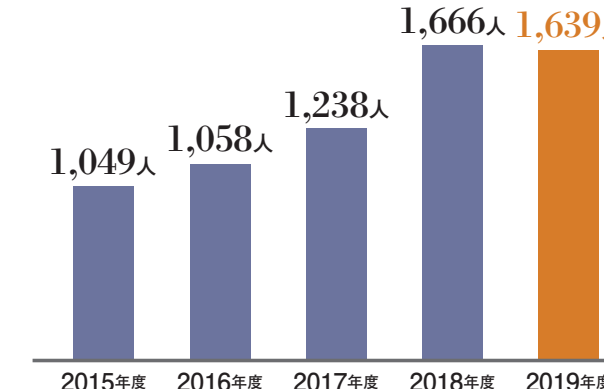
● 外国人留学生受入れ実績

※学部生、大学院生、ESOP交換留学生、短期受入れプログラムの合計



● 海外留学者数の推移

※派遣留学・学部SA・海外研修制度・HOP・海外ボランティア・インターンシップの合計



法政大学のグローバル化へのビジョン

持続可能で平和な地球社会の構築に貢献する大学へ。法政大学は、社会の様々な課題を解決する研究と教育を柱とし、自由な思考と自立した行動力を備えた地球市民の育成を目指して、グローバル化を推進しています。



数値目標 2023年の法政大学

グローバル化対応・体制の構築

●総長のリーダーシップ ●長期ビジョン「HOSEI 2030」の策定 ●ICT基盤とIR機能の強化充実

課題解決先進国日本から サステイナブル社会を構想するグローバル大学へ

世界各国のポスト工業国化
地球規模の環境問題
少子高齢化
世代間の格差・雇用問題 etc.

産業構造の転換
エネルギー・公害問題への挑戦
健康・医療、予防福祉の発展
社会システムの革新による雇用創出

世界は持続可能な社会モデルを模索しており、先行モデルとしてのわが国の課題解決研究は世界から注目されています。法政大学は「サステイナブル社会」研究に資源を集中させ、TOP GLOBAL UNIVERSITYを目指します。

日本の知見を世界へ 人間力豊かなグローバルリーダーを育成

法政大学の取り組み

1 「世界のどこでも生き抜く力」を備えたフロントランナーを育成する教育プログラム

2 「サステイナブル社会」を構築する人材の集積とグローバル化社会への発信力の強化

3 サステイナブルなグローバル社会の基礎づくりに向けた中等教育支援

4 サステイナブルなグローバル社会の構築を担う社会人の学びなおし

5 グローバル社会の変化に迅速に対応し意思決定が出来る体制の構築

大学理念

「自由と進歩」の精神でなにごとにも絶えず挑戦し、新しい伝統を創造し続ける

自立的で人間力豊かなリーダー育成、最先端に行く高度な研究を推進する

教育・研究の成果を社会に還元、持続可能な地球社会の構築に貢献する

受入れ留学生



3,000人

海外留学（単位取得）



1,500人

海外協定校



250校

連携高校（国内・海外）



110校

グローバルアクティビティ
体験率



100%

英語による学位取得



7コース

外国人等教員
外国での教員研究歴のある
日本人を含む



60%

外国語による授業



10%

CEFR B1取得
TOEFL ITP® 500点相当



48.1%

社会人の
学びなおしプログラム



1,200人

グローバル人材育成のイメージ

本学がこれまで培ってきた「自由と進歩」の精神に基づき、
既成概念にとらわれない自由な発想で考え、新しい問題に積極的にチャレンジする自立型人材、
持続可能な地球社会の構築に貢献出来る国際的な人材の育成を目指します。
実践的な語学教育、学内外での国際交流、
海外留学など、多彩なプログラムを用意しています。

1 年次

語学力と異文化 理解力を養成

- ERP (英語強化プログラム) P7へ
- Gラウンジ P8へ
- 国際ボランティア P15へ
- 短期語学研修 P14へ

2 年次

語学力を生かして 専門知識を習得

- ESOP (交換留学生受入れプログラム) 科目 P12へ
- 学部教育課程における海外留学 P14へ
- グローバル・オープン科目 P8へ

3 年次

学んだ知識を 海外で実践

- 派遣留学・認定海外留学 P13,14へ

4 年次

グローバル社会で 生きる力へ!

- 国際インターンシップ P15へ
- 国際キャリア支援プログラム P16へ

国際機関への
就職・活躍

海外
大学院

47の国・地域から集まる留学生と学内で交流し、
国際理解を深めていきます。

留学生と
交流する

ERP (英語強化プログラム) などを受講 P7へ

市ヶ谷、多摩、小金井の全キャンパスで、ネイティブスピーカー講師による「ERP (英語強化プログラム)」を実施しています。授業の空き時間を利用して、英語のスキルアップを図ることが出来ます。



グローバル・オープン科目などを履修 P8へ

グローバル・オープン科目やESOP (交換留学生受入れプログラム) の科目を受講することで、学内にいながらにして、英語のみの環境の中で多岐にわたる分野を学ぶことが出来ます。



Gラウンジを活用 P8へ

外国語コミュニケーションスペース「Gラウンジ (Global Lounge)」を活用すれば、日常的にネイティブスピーカーとの会話を楽しむことが出来ます。英語学習アドバイザーや留学生とのコミュニケーション経験により、英会話のスキルとグローバルな視野が身に付きます。



留学生と交流する P11へ

法政大学には多くの外国人留学生在籍しています。GラウンジやJラウンジなどで積極的に外国人留学生と交流することで、学内にいながらにしてグローバルな視点を養うことが出来ます。



派遣留学などに参加 P13へ

留学などの海外プログラムには、1年間または半期の派遣留学・認定海外留学、学部独自の留学プログラム・海外研修プログラム、全学部対象の短期語学研修があります。グローバル人材育成のためのプログラムを経験した多くの学生が、自身の目的やレベルに合った留学制度を利用しています。



国際ボランティア・インターンシップに参加 P15へ

国際ボランティア・インターンシップに参加することで、身に付けた英語力を生かして、留学とは異なるグローバルな交流・ビジネス体験を積むことが出来ます。世界各地から集う同世代の友人との出会いも魅力です。



国際キャリア支援プログラムに参加 P16へ

将来、国際的な企業や機関で活躍したいと考えている学生を対象に在籍年次に応じた適切なセミナーを実施し、各種参加プログラムにおける学びを国際的なキャリアプランに結びつけて考える機会を提供します。



語学教育プログラム

法政大学では、様々なレベルに応じて、日常的に語学力の向上に取り組める機会を提供しています。気軽にネイティブスピーカーから英語を学べるラウンジ、語学スキルを養成するプログラム、英語で専門分野を学ぶ科目などがあり、1年次から4年次にかけて徐々にステップアップしていくことが出来ます。



ERP（英語強化プログラム）

English Reinforcement Program

ネイティブスピーカーを中心とした講師による英語スキルの養成、およびその技能統合を目的としたプログラムです。一定レベルの英語力があり、英語学習の意欲が高い全ての学部・研究科の学生を対象に開講しています。2021年度は新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、オンラインまたは対面にて授業を実施しました。

■ERP科目例

レベル	開講科目
CE1	Oral Presentation & Discussion: Intermediate I,II
	Writing & Discussion: Intermediate I,II
CE2	Oral Presentation & Discussion: Higher-Intermediate I,II
	Writing & Discussion: Higher-Intermediate I,II
CE3	Oral Presentation & Discussion: Advanced I,II
	Writing & Discussion: Advanced I,II

*英語スコアによってレベル分けを行っています。



さらに詳しい情報は▶



<https://www.global.hosei.ac.jp/programs/oncampus/erp/>

グローバル・オープン科目

全ての科目の教授言語を英語とし、全学で開講している学部横断型の公開科目です。ERPなどにより一定以上の英語力を身に付けた学生は、全ての授業が英語で行われるグローバル・オープン科目を受講することで、所属学部の専門領域を超えた知識やグローバルな視点を身に付けることが出来ます。（一部科目において履修に英語力基準を設けている場合があります。）

2021年度は全194科目が開講されており、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、オンラインまたは対面にて授業を実施しました。

■2021年度秋学期 開講科目例

領域	科目名
(1) ビジネス&マネジメント	Introduction to Strategic Management, Foundations of Finance, Business and Society, Global Human Resources Management etc.
(2) ビジネス&エコノミクス	Introduction to Economics A, Business Communication II B, Sports Consumer Behavior, Practical Economics B, Japan and ASEAN Economy B etc.
(3) 国際関係	World Politics, Social Science A, Approaches to Transnational History, International Society and Environmental Issues etc.
(4) 社会と文化	Fieldwork for SDGs, Design Basics in English, Art, Rebellion and Advertising, Race, Class and Gender I: Concepts & Issues etc.
(5) 実践英語	Foreign Language Exercise (English IV), English Academic Writing II, English Presentation II etc.
(6) 科学・技術	Introduction to Computer Science and Information Technology, Environmental Science, Probability Models and Applications etc.

TOEFL®・TOEIC®・IELTS講座

春学期・秋学期中に受講出来る有料の英語試験対策講座です。英語圏留学を目指す学生対象のTOEFL®iBT講座・IELTS講座と、2レベルで展開するTOEIC®L&R講座があります。2021年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、各講座ともに全10回（週1回クラス）の集中授業をオンラインにて実施しました。

Gラウンジ Global Lounge

キャンパス内にいながらにして、外国人留学生や英語学習アドバイザーなど、ネイティブスピーカーと日常的なコミュニケーションの機会を持つことが出来、実践的な語学力を身に付けられます。2021年度は新型コロナウイルス感染症対策を行いながら開室しました。ネイティブスピーカー講師が英語学習アドバイザーとして常駐する時間を市ヶ谷・多摩・小金井キャンパスの各Gラウンジに設け、対面・オンラインどちらも参加出来るようにし、継続的な英語学習支援の場を提供しました。英語に苦手意識のある学生を対象にした初心者向けの時間を設け、これから英語学習に力を入れたい学生も英語に親しめる環境を用意しています。



TOEIC® IPの全学実施

自分の英語レベルを把握し、英語学習に役立てる機会として、TOEIC®IPを年1回、全キャンパスで実施しています。実力の把握が、英語学習へのモチベーションや英語レベルの向上に繋がります。2021年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、2020年度に引き続きオンラインにて実施しました。期間内であれば好きな時に受験が可能のため、多くの学生に受験機会を提供することが出来ました。

国際交流プログラム

語学力の向上や国際理解を深めることを目的に、様々な海外大学との交流やグローバルイベントを実施しています。また、2021年度より海外協定校の学生と英語・日本語での会話を楽しむオンライン言語交換プログラムを開始しました。



海外大学生とのオンライン言語交換プログラム (Language Buddy Project)

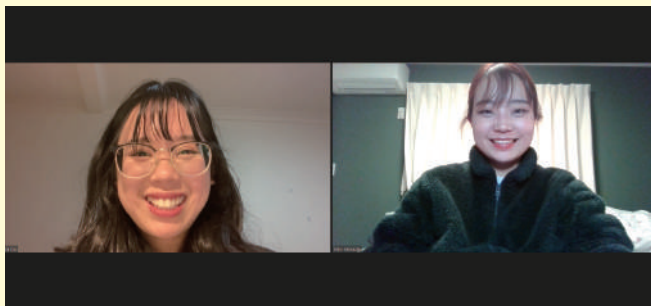
2021年度より開始した、海外協定校の学生と1対1のペアになり6週間以上にわたってオンラインで英語・日本語双方でのコミュニケーションを楽しむ言語交換プログラムです。春学期と秋学期の2ピリオド実施し、具体的な実施スケジュールや方法、会話のテーマ等は各ペアで相談して自由に決めることができます。英会話の能力を向上させたい方だけでなく、言語・文化の異なる友人をつくりたい方や、将来海外留学に挑戦してみたい方にも適したプログラムです。

2021年度はアメリカ、イギリス、タイ、ドイツ、オーストリア、スイス、オランダ、スペイン、メキシコ、オーストラリアの海外大学と実施し、約100ペア・200名の学生が参加しました。実際に本プログラムに参加した学生からは「交流を通して楽しみながら異文化理解を深めることが出来た」、「今まで海外大学生と英語で話す機会に乏しかったので、会話力に不安を抱いていたが、実際に話してみると確かなコミュニケーションを取れている実感が持て、自信に繋がった」といった声が寄せられました。

Voice

私は今まで何度か英語で話せる友人をつくりたいと思い、いくつかのトークアプリを利用したことがありました。しかし安全性に不安があり長続きしませんでした。その点、このプログラムでは、話し相手が同じ大学生だとわかっているため交流することに抵抗がありませんでした。何よりこのプログラムの一番の魅力は、相手も日本語を勉強中

であるという点です。どちらかが一方的に教えるのではなく、お互いに相手の言語を学ぼうという気持ちがあることによって、対等な関係を築けたのではないかと思います。私たちは毎週1時間お話しする時間をつくって、そのうち30分は英語、残りの30分は日本語で会話をするよう決めていました。気軽に英語で会話出来る機会を週1回設けられたことは私にとって、とても得難いものでした。お互いの国のスラングや季節の行事について教え合うこともあり、初めて出来た他国の友人との交流はとても楽しかったです。プログラム終了後も私たちは変わらず毎週Zoomで会っています。このプログラムを通して、本来なら出会うはずのない日本から遠く離れたオーストラリアの素敵な友人に出会えたので、参加して本当によかったと思います。



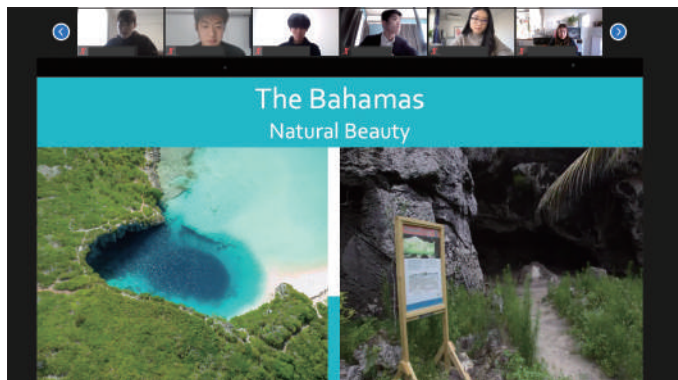
山田美緒さん (写真右)
2021年度秋学期オンライン言語交換プログラム参加
情報学部 デジタルメディア学科 1年生 (参加当時)

オンライン国際交流イベント

新型コロナウイルス感染症の影響により乏しくなっていた学生間の国際交流の機会を創出することを目的に、オンラインを活用した学生交流イベントを随時実施しています。

2021年度は、アジア圏や欧米圏、中米圏の計9か国・16校の海外大学と、約40回にわたってイベントを開催し、本学からは合計100名以上の学生が参加しました。交流テーマは、自国の料理、お祭り、映画、アニメなどの身の回りの話題から、働き方、SDGs、地球温暖化、新型コロナウイルスが変えた生活様式などの社会的な話題まで多岐にわたり、英語や日本語でディスカッションやプレゼンテーションを行いました。

実際に交流会に参加した本学学生からは「英語しか使わない環境に身をおけたことで、自分のスピーキング力でどこを強化すべきかを明確にすることが出来た」、「様々なバックグラウンドを持った海外大学生と交流することが出来、多様な意見が学びになった」といった声が寄せられ、交流会に参加した学生にとって、語学学習にとどまらない、新しい学びや気づきのある有意義な機会となりました。



スピーチコンテスト

第7回法政大学日本語スピーチコンテスト(ベトナム) (主催：法政大学 共催：ベトナム国家大学ハノイ外国語大学)

本コンテストはベトナムの高校生・大学生を対象に、日頃の日本語学習の成果を発表する機会を提供することを主な目的として、2015年度から毎年度開催しています。第1回から通算して1,000人を超える生徒・学生が参加してきました。

ベトナム国家大学ハノイ外国語大学をメイン会場として11月27日に開催された決勝審査では、応募者238名のうち、予選を通過した20人が、『ポストコロナ時代の私たちのあり方』をテーマにスピーチを行いました。

2021年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、本学審査員は日本からオンラインで審査を実施しました。

最優秀賞、優秀賞を受賞した4名(大学生3名、高校生1名)には副賞として日本へ招待することが伝えられ、2022年度に来日して、日本語や日本文化の学びを深めてもらう予定です。



多摩国際交流フェア

多摩キャンパスで学ぶ留学生と日本人学生を中心に交流を深めるイベントです。留学生による母国の文化紹介や、参加者同士で懇親を深めるゲームなどを実施しています。2021年度は対面・オンラインで2日間開催し、キャンパス・国境を越えて交流を深めました。

2021年度実施内容

対面開催：中国の朝食文化紹介や若者言葉に関するクイズ、韓流ブームの紹介やドラマで話題の型抜きゲーム、国際交流サークルFiTusによるスマートフォンを用いた借り物競争など

オンライン開催(Zoom)：お絵描きゲーム、フリートークなど



総長杯英語プレゼンテーション大会

本学付属校(法政高校・法政第二高校・法政国際高校)の生徒を対象に、自分の考えを英語で発表する機会を設けるため、英語プレゼンテーション大会を開催しています。本大会は、2016年度に開始し、これまで延べ85名の付属校生が参加しました。2021年度の第6回では「社会の様々な課題を『なんとか解決したい』とあれこれ考える—私にとっての実践知—」をテーマに、新型コロナウイルス感染症の影響によりオンラインでの開催となりましたが、大学教員、付属校教員及び本学の外国人留学生による審査のもとで、合計8組15名の付属校生が英語でプレゼンテーションを行いました。



グローバルデイ2021

学生が主体となり、企画から運営までを行っているイベントです。国際的な舞台で活躍する実務者を招いての様々な取り組みの紹介や、意見交換、問題提起などを通じて、国際協力、国際交流、グローバルビジネスへの興味喚起を目的として毎年開催しています。2021年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、全ての企画をオンラインで実施しました。



2021年度実施内容

- ・グローバルポイント制度表彰
- ・グローバル教育センターが主催するプログラムの紹介
- ・移民・難民問題の当事者と専門家のパネリスト2名によるパネルディスカッション
- ・「世界の料理」、「韓国」、「グローバルクイズ大会」、「Play with English」、「グローバル×会話」など、各テーマに沿ったワークショップ

外国人留学生の受入れ

外国人留学生3,000人の受入れ実現を目標とし、キャンパスのさらなるグローバル化を目指しています。
また、学生が国内で国際交流出来る機会を提供するため、受け入れた留学生や海外大学との交流を実施しています。



外国人留学生（正規留学生受入れ）

大学・大学院合わせて1,062人の留学生が学位取得を目指して、日本人学生と共に勉学に励んでおり、グローバル教育センターを中心に様々な部局で留学生を支えています。留学生を対象とする授業料減免制度や各種奨学金の紹介、日本での就職を目指す留学生に向けた企業説明会等も積極的に実施しています。

2020年度より、留学生が各種申請や説明会等への参加を安心して行えるよう、オンラインでの対応を開始しました。2021年度も多くの授業がオンラインで行われましたが、「自分のペースで勉強出来た」「復習がしやすくなり、成績が上がった」「通学の時間を勉強に充てることが出来た」といった声が寄せられました。

法政大学総留学生会

留学生が互いに親睦をはかり、学業達成のために協力しあうことを目的として自主的に運営している組織です。学部留学生は全員が総留学生会の会員となります。総留学生会は主に中国、韓国、台湾留学生会などから構成され、それぞれが履修登録相談会や高尾山ハイキング、就職活動情報交流会など毎年多種多様な活動を実施しています。活動内容によってはグローバル教育センターが補助費の支給も行っています。

また、12月には年1回の総会が開催され、次年度の役員選出や活動方針の報告を行います。



高校生の頃から国際協力・途上国援助に興味を持っており、将来は国連機関で働いて母国の発展や国際社会に貢献したいと考えていました。日本は戦後の難しい状況乗り越え、経済、教育、保健・衛生、社会インフラ構築等において先進国となりました。日本で勉強することで、国際協力に関する知識・経験を身に付けることが出来ると考え、留学を決意しました。

日本と母国の文化は大きく異なりはしませんが、母国の常識が通用しない場面もあり、日常生活で難しさを感じる時もあります。加えて、コロナ禍によって多くの授業がオンライン形式となり、慣れるまで苦労もしました。しかし、オンラインにもかかわらず授業の質は維持されており、国際支援や多民族共生、環境問題など興味ある授業を履修して、国際協力に不可欠な「持続可能な社会づくり」について学ぶことが出来ています。日々の勉強は忙しいですが、アルバイトも楽しく、非常に充実した生活を送っています。日本での留学を通じて、自分の視野を広げることが出来たと感じており、将来国連機関で働く夢を実現するための貴重な経験になっています。



タン ファイタンさん (写真左から2番目)
外国人留学生 (マレーシア)
人間環境学部 人間環境学科 2年生 (2021年度)

日本語教育プログラム (JLP)

留学生を対象に日本語や日本文化などの学習を支援しています。多くの方が大学や大学院での学習や職場で必要となる十分な日本語力を身につけることを目指しています。授業は初級から上級まで7つのレベルに分かれ、各個人の日本語力に適したクラスを受講しています。受講生は科目等履修生、交換留学生、英語学位生のグループから構成され、多様なバックグラウンドをもつ学生が集い交流しています。2021年度は新型コロナウイルス感染症の影響で全ての授業をオンラインに切り替えました。すでに日本にいる留学生だけでなく、渡日できない学生も海外からオンライン授業に参加し、学習を継続しています。

※本プログラムは2022年度春学期入学をもって科目等履修生の募集を終了いたしました。

Jラウンジ

Jラウンジは、日本語を学ぶ留学生が授業外で学生スタッフと交流し、生きた日本語を学び・使う交流スペースです。留学生にカジュアルな日本語を使える機会を提供し、友達づくり等本学でのコミュニティ形成のサポートを行っています。学生がボランティアで主体的に運営しており、昼休みや授業の空き時間を利用して実施しています。また自分たちで考えたテーマをもとに文化交流イベントなどを企画・実施しています。

2021年度は 新型コロナウイルス感染症の影響により毎週2回程度オンラインで実施したほか、ストリートビューを活用し日本へ入国出来ない留学生に日本各地の名所を紹介する交流イベントをZoomで開催しました。「日本語」でのおしゃべりを通して、お互いの国や文化について交流を深めています。



ESOP (交換留学生受入れプログラム)

法政大学交換留学生受入れプログラム (ESOP) は、本学の海外協定大学から受け入れる、半年から1年間在籍する交換留学生および短期私費留学生のために1997年より開設された講座であり、日本の文化や社会、政治、経済などのテーマを中心とした科目を交換留学生向けに英語を用いゼミ形式で行っております。この科目については、交換留学生だけでなく本学学生も受講出来、多くの学部が単位を認定しております。交換留学生向け授業であることから、一定の英語レベルや授業への積極的な参加が求められ、課される課題も多くありますが、積極的に参加することによって英語力を向上出来るだけでなく、授業内で海外からの留学生との交流を深めることが出来ます。2021年度はコロナ禍の影響により14名しか入国出来ませんでしたが、渡日出来なくても法政大学で留学することを希望する46名については、オンラインで受け入れました。本プログラムは留学前の準備として日本社会や文化を理解することも出来、留学で得た経験や知識のブラッシュアップにもつながっています。また、海外で授業を受けたことがない学生には、国内でもグローバルな視点を身に付けることが出来るため、とても魅力的な授業になるでしょう。ぜひこの機会にESOP授業に参加し、学習を通じて国際交流の輪を広げてみてください。



Many people that have asked about my study abroad seem to think that the online study abroad with Hosei University was a let down compared to actually traveling. Of course, being able to go in person would have been amazing, but I still had an incredible time with the classes online. I decided to join because I think there is no better time to do this than during college. In the middle of new experiences and becoming a more independent person, interacting with international students and faculty complements the college experience very well. At my home university, I found the few things I wanted to do and stuck with them. With the study abroad, I tried attending the exchange student activities and found them to be enjoyable. Everyone is so nice, accommodating, and they get excited with whoever is there. I would highly recommend trying to do as many extra activities as possible. It made me want to attend more events at my home university as well. I would also encourage potential students to look into taking discussion based classes. I got the most out of the classes that incorporated breakout groups in zoom to have conversations with the other students. It was especially interesting to hear from the native Japanese students and how their experiences compared to the other exchange students.



MILES JORDAN HERGETさん (写真左から3番目)
交換留学生 (アメリカ)
所属大学: ボイシー州立大学 3年生 (参加当時)

HUBs (Hosei University Buddy system)

HUBsは、法政大学に入学する交換留学生とBuddy (パディ) を組み、留学生が在籍する半年または1年間、彼らのサポートを行うボランティアです。具体的には、学期前後にアドバイス、出迎え、大学施設案内、口座開設、キャンパスツアー、イベント開催など様々なサポートを行います。また、渡日後にも学期中を通じて各種支援を行うことで、留学生の生活をサポートします。HUBsに参加した学生は、交換留学生向けのパーティや体験イベントを企画・参加し、交流を行います。この活動に参加することで語学学習の機会を得るだけでなく、留学生の視点で日本を見つめ直すことが出来、グローバル視点と異文化への理解を深めることが出来ます。2021年度は計121名の学生がHUBsに参加し、様々なサポートを行い、コロナ禍の影響で渡日出来ない交換留学生のためにHUBs主導でヴァーチャルツアー、クイズ大会、ハンコづくりなど様々なオンラインイベントも実施しました。HUBsの活動は、日本にいなから世界各国からの留学生と交流を深めることが出来、留学生の日本留学をかけがえのない思い出にするお手伝いが出来るのが魅力だと言えます。



私はロシアへの短期留学をきっかけにより多くの外国人の友人を求めてHUBsに参加しました。私が最初に参加したのはコロナ禍以前だったので数多くの学生が参加していました。HUBsに参加したことで空港出迎えや寮までの案内、Welcome PartyやG-Loungeなどの触れ合う機会が多くなり留学生だけでなく日本人の友人も数多く出来、海外での経験を知り新たな繋がりを得るなど私にとってHUBsとG-Loungeは価値のある時間と場所になりました。しかし、コロナ禍によりHUBs等の活動はオンラインで行うことが増え以前のように留学生と遊びに行き食事をするなどの交流は出来なくなりました。コロナ禍後のHUBsやキャンパスツアー、国際交流のイベントにも参加しましたが時差や求めていた環境でないことから人数は減少していました。しかし、その中でも日本に興味を持ちコロナが落ち着いたら留学を希望している人はいます。直接触れ合うことは出来なくても、今繋がりを得ておくと彼らが日本に来たときはよりスムーズに手助けが出来ます。皆さんもオンラインであるからといって残念に思わず積極的に参加してください。



加藤 暢さん (写真手前左)
2021年度春季HUBs生 / 文学部 地理学科 4年生 (参加当時)

学生海外派遣

学生が海外に出て、語学力の向上だけでなく、異文化への理解を通じて広い視野を持てるよう、様々な海外プログラムを実施しています。また、2021年度より入学後間もない学生を対象とした留学に対する奨学金制度を新たに開始しました。



派遣留学制度 ～協定校への交換留学～

全学部対象の留学制度で、3・4年次に世界各国の協定校に半期または約1年間留学する制度です。学内選考試験に合格した派遣留学生全員に返還不要の奨学金が支給されるほか、法政大学の学費を通常通り納入することで、派遣先大学の授業料は全額免除されます。派遣先大学では主に学部の授業を履修し、取得した単位は帰国後に30～60単位を限度に法政大学の卒業所要単位として認定されます。

2021年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の大学で渡航を伴う留学を実施しました。また、並行してオンライン留学も実施しました。

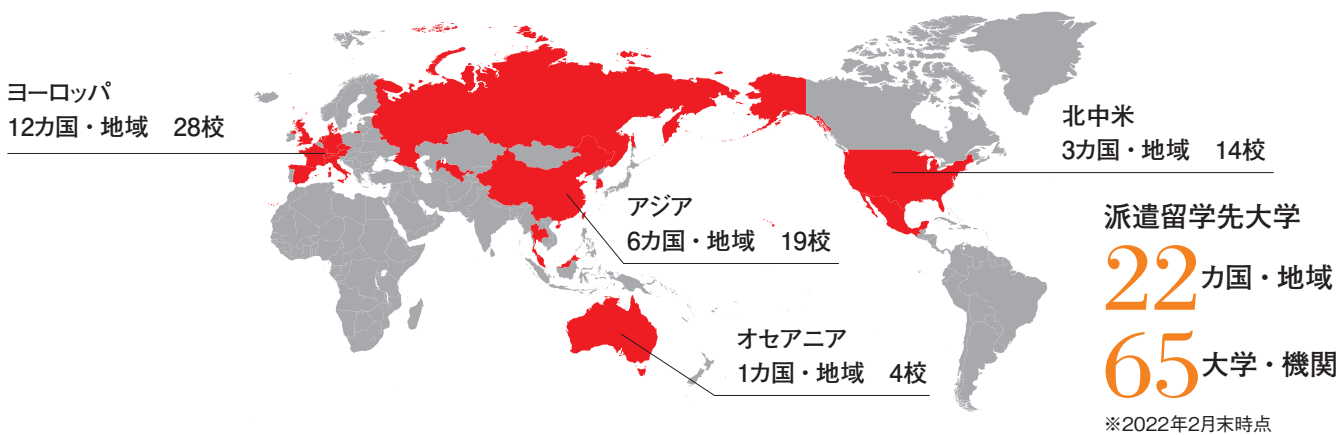
●派遣留学奨学金（半期留学の場合は半額支給）

アメリカ、イギリス、カナダ、オーストラリア、ドイツ、オーストリア、スイス、チェコ、オランダ、フランス、デンマーク、スウェーデン、イタリア、ロシア、スペイン、韓国の協定校に留学する場合

100万円
合格者全員

中国、台湾、タイ、マレーシア、ウズベキスタン、メキシコの協定校に留学する場合

70万円
合格者全員



Voice

渡航留学

コロナで不安もありましたが、国際交流課の職員の方をはじめとした支えがあり、派遣留学を無事に終えることが出来ました。

私は「タイムマネジメント能力を向上させるために、ハードなスケジュールを走りきる」を目標にし、留学に挑みました。専攻の授業や語学はもちろん、日本語クラブ、射撃クラブ、ローラーホッケークラブに参加し、また友達と小さなサッカーチームを作り、大学が主催するリーグ戦に参加しました。日本で行っていたオンラインのアルバイトも続け、さらに法政大学の卒業論文も、コロナの影響で特別に取り組むことが出来ました。初めは膨大な量の用事に圧倒されそうになりましたが、徐々にコツを掴み、挫折することなく、やりきることが出来ました。結果、効率的に予定をこなすスキルを身に付けると共に、より満足の出来る留学になりました。これは、語学や専攻の、勉強面における目標だけでなく、もう一つのルール、私生活において改善したいこと、達成したいことなどの、目的と目標を持ったおかげだと思います。



賀部寿仁さん (写真後列右から2番目)

2021年度トルーマン州立大学 (アメリカ)
派遣留学生
スポーツ健康学部 スポーツ健康学科
3年生 (参加当時)

Voice

オンライン留学

留学したのは「自信が欲しかった」から。結果は半分成功で半分失敗でした。落胆したのは国を変えたくらいでは変わらない自分の欠点を自覚した時でした。希望を持ったのは、変われなくても不甲斐なくとも聞き直して手と頭を動かせば、少しずつ問題を解決できると知った時です。「クラス替え申請」で実力以上の授業に挑戦、授業に追いつけなくて、ロシアのクラスメイトと必死に復習しました。同時に東京で中国茶のアルバイトを始め、習ったことを活用、通じなければ教科書を読みました。初めは毎日失敗の連続でしたが、今ではメニューの日本語を考える等、重要な仕事を頂いています。オンラインでも留学は無駄ではありませんでした。会えないから、繋がった友人をこの上なく大切に思えます。お互いを知りたいと思えます。これを読んでいる方は悔いのない、ワクワクする方を選んでください！どちらに進んでも応援しています！



田尾小波さん (写真上段中央)

2021年度上海外国語大学 (中国) 派遣留学生
文学部 史学科 4年生 (参加当時)

認定海外留学制度 ～希望する大学への私費留学～

希望する海外の大学から受入れ許可を得て本学に申請をし、所属学部の審査を経て2～4年次の半期または約1年間私費留学する制度です。留学先大学で取得した単位は、帰国後に30～60単位を限度に法政大学の卒業所要単位として認定されます。法政大学と留学先の両方に学費を支払う必要がありますが、「開かれた法政21・認定海外留学奨学金」(30万円)、「後援会認定海外留学奨学金」(10万円)、「グローバルキャリア支援基金による海外留学支援奨励金」(25～50万円) 等の返還不要の奨学金制度があります。また、本学協定校のボイシー州立大学やミネソタ州立大学マンケート校 (アメリカ)、オーストラリア・カンリック大学やボンド大学 (オーストラリア) での認定海外留学制度による私費留学制度も実施しています。

※奨学金は半期留学の場合、半額支給。



【過去10年の認定海外留学生の留学先国・地域】

アメリカ	イギリス	カナダ
オーストラリア	中国	デンマーク
ドイツ	フィンランド	台湾

学部独自の留学・海外研修制度

14学部において、学部独自の留学制度であるスタディ・アブロード (SA) プログラムと学部の専攻に合わせた特徴のある様々な海外研修がカリキュラムに組み込まれて行われています。

2021年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、渡航して実施予定だった学部独自の留学・海外研修制度は中止となりましたが、文学部の国際哲学特講 (ドイツ・フランス)、国際文化学部の海外フィールドスクール (フィリピン)、キャリアデザイン学部のキャリア体験学習 (ベトナム・台湾) についてオンラインを活用して実施し、計43名の学生が参加しました。

独自の留学制度・海外研修制度を実施している学部

全14学部

短期語学研修制度

夏休みと春休みの2～4週間程度、語学力の向上を目指して、マレーシア・アメリカ・カナダ (英語)、中国・台湾 (中国語)、韓国 (朝鮮語)、オーストリア (ドイツ語・夏季のみ)、フランス (フランス語)、スペイン (スペイン語) の各協定大学で実施する留学制度です。研修は各協定大学付属の語学機関にて行われます。学部や学年、語学レベルや学業成績にかかわらず、全ての学部生が応募可能です。留学先では個人の語学力に応じたレベル別の授業を行っているため、初級者から上級者まで幅広く対応しており、初めて海外に行く方や、将来長期留学を考えている方にも適した制度です。また、課外活動や文化体験を通じて、留学先の社会や文化に触れることが出来るのも魅力です。学部によっては、所定の要件を満たすことで単位の認定も可能です。

2021年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、夏季・春季ともに各協定校 (フランスを除く) の提供するオンラインプログラムを代替として実施し、多くの学生が参加しました。また、オンラインプログラム受講時においても、渡航プログラムと同様に単位の認定を行いました。実際にオンラインプログラムに参加した学生からは「渡航しての留学と比較しても遜色のない授業内容だった」、「クラスには意欲のある生徒が多く、刺激を受けて自分のモチベーションも上がった」といった声が寄せられました。

Voice

オンライン留学

新型コロナウイルス感染症の影響で1年生の夏の留学を諦めていたところに、グローバル教育センターからのメールでこの研修制度を知りました。対面での留学と違ってきちんと成果が得られないのではと不安もありましたが、家でずっとだったらと過ごすよりは、と思い参加を決めました。研修中の授業内では、日替わりでファシリテーターを務めたり、授業最後のプレゼンテーションでは原稿やパワーポイントで資料を作ったりするなど、英語力だけではなく統率力やプレゼン力も身に付きました。さらに、グループでの会話練習のトピックは興味を持ちやすいものが多く、分からない単語があった際は日本人同士助け合って会話を繋げていたので、間違えることが怖いと思わずにリラックスして英語力を伸ばせました。また、平日朝から毎日授業があるのは大変でしたが、私の選んだプログラムは13時頃には終わるので、アルバイトや遊びの予定とも十分に両立出来ました。なかなか海外との繋がりが持てないコロナ禍で、こういった機会をくださったことに感謝しています。ありがとうございました。



藤田真亜子さん

2021年度夏季短期語学研修協定校オンラインプログラム参加
文学部 英文学科 1年生 (参加当時)

国際ボランティア・インターンシッププログラム

さまざまな体験を通して、これまでとは違った観点から世界を見ることにより、グローバル人材に求められる能力や資質を身に付けるプログラムです。派遣先の環境問題に取り組む活動や、経済的なハンデを持った学生の英語学習支援活動などを行う「国際ボランティア」と、派遣先の企業やNGOなどで就業体験を行う「国際インターンシップ」の2種類があり、文化や言語、働き方の違いを学ぶことで、海外へチャレンジする学生を育てます。実施期間はプログラムにより異なりますが、夏季（8～9月）および春季（2～3月）休暇中の2週間～4週間です。2021年度は新型コロナウイルス感染症の影響により夏季、春季ともにすべての国際ボランティア・インターンシッププログラムを代替としてオンラインで実施しました。

Voice

4週間の期間中、環境保全NGO団体の広報活動と、ベトナムの学生への英語学習支援に取り組みました。当初は言語の壁もあり、現地の方とのコミュニケーションに苦労しましたが、自分から進んで連絡を取る、自己紹介動画を作成するなど積極的な姿勢を見せることで次第に打ち解け、活動を充実させることが出来ました。言葉の壁やオンラインでの活動という障壁を乗り越え、国や文化が異なる人達とよい関係性を築くには、相手を尊重する姿勢や自己開示を恐れないことが何よりも大切でした。短い期間でしたが、国際的な場面のみならず他者と協働するうえで大切な姿勢を学んだと感じます。現地でもオンラインでも、取り組み方次第で多くの喜びや学びが得られると思いますので、機会を大切に是非参加してみてください。



阿久津 光生さん（写真右側一番下）
2021年度夏季国際ボランティア（FPT大学・ベトナム）参加
現代福祉学部 福祉コミュニティ学科 3年生（参加当時）

海外留学ファースト・チャレンジ奨励金

学生の入学後、早期から自主的に海外留学・海外研修活動に挑戦することを奨励し、その後のさらなる国際交流活動を動機づけるため、2021年度より「海外留学ファースト・チャレンジ奨励金」制度を新設しました。本奨励金は、夏季・冬季・春季休業期間中に実施される、学外機関主催・提供の海外留学・海外研修プログラムのうち所定の要件を満たしたものに参加・修了した学部1～2年生に対し、選考の上支給するものです。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により海外への渡航が困難な現状を踏まえ、オンライン形式のプログラムも支援の対象としています。

実際に本奨励金を受給した学生からは「オンラインでのインターンシップは初めての試みで、申し込みまでの不安が大きかったが、本奨励金制度によって、参加してみようという意欲が湧いた」、「オンラインの留学で果たして満足のいく学びができるのかと応募する決断がなかなかできなかったが、本奨励金のおかげで留学に踏み切ることができ、結果的に大変充実した時間を過ごすことができた」といった声が寄せられました。

なお、本奨励金は、国際化サポートを用途として寄付いただいた「リーディング・ユニバーシティ法政募金」の一部を財源としております。

Voice
オンライン留学

オンラインとはいえ決して安くない費用だったので、今回このような制度があることはとても力になりました。
私がこの夏参加したプログラムは、アメリカの語学学校で国際インターンシップをしながら英会話クラスを受講するものです。

プログラムを通して得た学びは、計画を立てて早めに行動することを常に心がける、スケジュール管理の大切さです。毎週振り返りをして、反省点や次週の課題を見出すことで、より良い活動が出来ました。さらに、スケジュール管理は仕事だけではなく、大学生活でも授業やサークル、アルバイトなどにおいても必要なことだと学ぶことが出来ました。

留学準備のために今回の国際インターンシップの参加を決めたので、今後も英語力向上のために努力をしていきたいです。さらに、オンラインではないインターンシップや短期留学などに自ら参加する行動力をつけていきたいです。



周防 恵愛里さん（写真左上）
法学部 国際政治学科 1年生（参加当時）

2021年度 夏季 国際ボランティア／国際インターンシップ募集プログラム

・ベトナムでの環境問題/学習支援活動（オンライン）

約4週間のプログラム期間に現地の環境保全NGO団体および英語教育支援を行う非営利団体の両方で活動に取り組む国際ボランティアプログラムです。本プログラム開始前に、チームビルディング講習などボランティア活動をするために必要な知識を学ぶ事前講習もあり、プログラム以降も生かせるスキルが身に付きます。

・ルーマニア現地企業での実務研修（オンライン）

参加学生の希望に応じて現地企業がマッチングされ、実際の業務に携わることができます。またプログラム中には別途、現地学生との文化交流セミナーなどにも参加します。将来を見据えた就業体験や異文化交流を経験することができます。

オンライン留学・オンライン交流会の実施状況

本学では、新型コロナウイルス感染症の影響により海外への渡航が困難な状況の中でも「グローバル化」を進めるため、オンラインを活用した新たな取り組みを行っています。2021年度は派遣留学をはじめとした9つの留学プログラムをオンラインを活用して実施したほか、海外大学・機関とのオンライン国際交流イベントを開催し、オンライン留学・オンライン交流会実施国は計22カ国にのびりました。

オンライン留学・オンライン交流会実施国
計 **22** カ国
※2022年3月末現在



グローバル人材として
社会で活躍

国際キャリア支援プログラム

学生が留学等の海外プログラムでの経験を将来のキャリアに繋げ、グローバルに活躍する人材へと成長できるよう、様々なセミナーやワークショップを実施しています。2019年度より、海外プログラム参加前後に時期に応じた段階的なプログラムを構成しています。



- 採用直結型イベント
- 留学経験者向け学内企業説明会

海外プログラム参加後各種セミナー

学内外の海外プログラムに参加

海外プログラム参加前各種セミナー

海外留学・就職活動セミナー

1年次

2年次

3年次

4年次

2021年度は、国際キャリア支援プログラムの一環として、キャリアセンターと合同でオンラインイベントを開催しました。

春学期には、「コロナ禍における大学プログラムの就職活動への活用法」と題し、コロナの影響で留学を含め様々な活動が制限を受ける中、就職活動で問われることを説明した上で、オンラインを活用した留学や学内プログラムを紹介し、参加を推進しました。特に低学年の学生に現状できることを前向きに進めることの大切さを伝え、「コロナ禍でもできることを見つけ、挑戦していく必要があると感じた」など好意的な意見が寄せられました。

秋学期には、「海外留学と就職活動の両立」と題し、海外勤務経験のある本学職員がグローバルに活躍するために必要な条件を説明した上で、留学プログラムの紹介と最新の就職活動状況と留学との両立について講演しました。就職以外にも海外大学院など様々なグローバルキャリアについても取り上げ、参加学生からは留学やキャリアに関する質問や相談が寄せられ、コロナ禍でもグローバルな活躍を希望する学生が多数いることを実感しました。

海外交流協定大学

● 派遣留学 ● 短期語学研修 ● SA ※

※学部により行き先が異なります。

現在、法政大学では世界47カ国・地域において、260大学・機関（2022年2月末現在）との間で

学術一般協定、学生交換協定などを締結しています。法政大学と世界を結ぶグローバルネットワークは今後もさらに広がっていきます。

海外交流
協定大学

260

※2022年2月末現在

47カ国・地域

大学・機関

イギリス *United Kingdom*

ロンドン大学ロイヤル
ホロウエイカレッジ
シェフィールド大学 ● ●
ノッティンガム大学
グラスゴー大学
リーズ大学 ● ●
ニューカッスル・アポン・
タイン大学 ●
サセックス大学 ●
ブラッドフォード大学 ●
ヨーク大学
ロンドン大学バークベック ●
ウルヴァーハンプトン大学
ロンドン大学東洋アフリカ研究学院 ●

アイルランド *Ireland*

ユニヴァーシティ・カレッジ・ダブリン ●
リムリック大学 ●

フランス *France*

リヨン第三大学 ●
西部カトリック大学 ● ●
パリ大学 ●
ヴェルサイユ大学理工学部 ●
エクス・マルセイユ大学
ストラスブール大学 ●
キャンパスフランス ●
サンジェルマン・アン・レー
政治学院 ●

スペイン *Spain*

バルセロナ大学 ●
ラモン・リュイ財団
ビック大学 ●
コルドバ大学 ●
EUSS
マラガ大学

ドイツ *Germany*

フンボルト大学
オルデンブルク大学
ロイファナ・リュネブルク大学
ベルリン国際応用科学大学
バーデン＝ヴェルテンベルク・
デュアルシステム大学 ●
ブレーメン大学 ●
シュトゥットガルト工科大学 ●
ブレーマーハーフェン
応用科学大学

オランダ *Netherlands*

NHLステンデン応用科学大学 ●

スイス連邦 *Switzerland*

スイス連邦工科大学チューリッヒ校
サンクトガレン大学 ● ●
チューリッヒ大学
チューリッヒ大学哲学部東洋学科日本学部門

スウェーデン *Sweden*

ブレーキング工科大学 ●

デンマーク *Denmark*

ロスキレ大学
オールボー大学 ●

イタリア *Italy*

カルロ・カッターネオ大学 ●
ヴェネツィア大学 ●
ミラノ工科大学
トリノ工科大学

チェコ *Czech*

チェコ工科大学 ●

オーストリア *Austria*

ウィーン大学 ● ●

ハンガリー *Hungary*

コルヴィナス大学（旧：ブダペスト経済大学）

ルーマニア *Romania*

バベシュ・ボヤイ大学

ポーランド *Poland*

社会科学大学
コスミンスキ大学

アルバニア *Albania*

ティラナ工科大学

セルビア *Serbia*

ニシュ大学

ブルキナファソ *Burkina Faso*

ワガ第一ジョセフ・キ・ゼルボ大学

エチオピア *Ethiopia*

メケレ大学

アルジェリア *Algeria*

アルジェ大学

コートジボワール *Ivory Coast*

フェリックス・ウフェ・ボアニ大学

ケニア *Kenya*

カラティナ大学

チュニジア *Tunisia*

カルタゴ大学

エジプト *Egypt*

エジプト日本科学技術大学

ロシア *Russia*

ロシア科学アカデミー東洋学研究所
モスクワ国立大学 ●
サンクトペテルブルク国立大学 ● ●
ペテルブルク国立交通工科大学 ●
国立研究大学高等経済学院 ●
ベンザ国立大学
N.I.グロデコフ名称ハバロフスク地方考古博物館

インド *India*

インド科学大学院大学

マレーシア *Malaysia*

アジアパシフィックテクノロジー
&イノベーション大学 ●
マラヤ大学 ●
マレーシア工科大学
UCSI大学 ●
マラ工科大学機械工学部
マレーシア科学大学
ブトラマレーシア大学

カンボジア *Cambodia*

カンボジアメコン大学
ベルティ大学
王立ブノンベン大学

インドネシア *Indonesia*

サナタダルマ大学
ボゴール農業大学
スラバヤ工科大学
ビーナス大学
アトマジャヤジョグジャカルタ大学
LSPRコミュニケーション&ビジネスインスティテュート

ネパール *Nepal*

トリブバン大学

ウズベキスタン *Uzbekistan*

タシケント国立東洋学大学 ●
サマルカンド国立大学

モンゴル *Mongolia*

モンゴル国立大学

フィリピン *Philippines*

南フィリピン大学 ●

タイ *Thailand*

タマサート大学 ●
チュラロンコン大学 ●
シーナカリンウィロート大学
泰日工業大学
プリンス・ソングラ大学
チェンマイ大学

ラオス *Laos*

ラオス国立大学

オーストラリア *Australia*

シドニー大学 ●
グリフィス大学
アデレード大学 ● ●
モナシュ大学 ●
ボンド大学 ● ●
オーストラリア・カソリック大学 ●

中国 *China*

北京大学
北京大学政府管理学院
上海外国語大学 ● ●
中国国家外国專家局
上海交通大学
北京師範大学 ●
北京外国語大学
北京日本学研究中心
山東財経大学
大連民族学院
武漢大学
四川外国語大学
中央民族大学 ●
遼寧大学国際関係学院
福州大学
大連外国語大学
首都師範大学 ●
北京科技大学
重慶師範大学
外交学院
清華大学国際コミュニケーションセンター
西南交通大学
龍門石窟研究院
天津外国語大学
北京語言大学 ●
対外経済貿易大学
福建師範大学
大連大学
東北大学秦皇島分校
山東大学 ●
済南大学
山東協和学院
西南民族大学
華僑大学
少林寺
復旦大学文物博物館学系
西北工業大学
華南理工大學
模範的ソフトウェア学院連盟
西安交通大学
北京交通大学
吉林大学軟件学院
中国科学技術大学
西安電子科技大学
厦門大学
華中科技大学
中南大学軟件学院
東北大学
大連理工大学
東南大学
華東師範大学
天津大学
西安科技大学
大連工業大学
遼寧科技大学

香港 *Hong Kong*

香港公開大学

ニュージーランド *New Zealand*

マッセイ大学 ●
オークランド大学 ●
オタゴ・ポリテクニク

台湾 *Taiwan*

国立中山大学 ●
淡江大学 ● ●
文藻外語大学
中原大学
國立虎尾科技大學
國立雲林科技大學
國立高雄師範大學
實踐大學
國立台灣師範大學 ●
國立政治大学 ●
元智大学 ●
輔仁大学
國立高雄大學
國立暨南國際大學
中信金融管理學院
國立中央大学
國立勤益科技大學

韓国 *Korea*

延世大学 ●
延世大学地域発展研究所
延世大学政経大学院
徳成女子大学 ●
聖公会大韓社会史研究所
嘉泉大学
ソウル大学経営学部 ●
ソウル大学日本研究所
高麗大学
梨花女子大学 ●
仁荷大学産業経済研究所
アジア気候変動教育センター
ソウル市立大学 ● ●
誠信女子大学
韓国外国語大学 ●
中央大学
建国大学 ● ●
京畿大学
釜山外国語大学
湖西大学

ベトナム *Vietnam*

ベトナム国家大学ホーチミン市
工科大学
ベトナム国家大学ホーチミン市
人文社会科学大学
FPT大学
ベトナム国家大学ハノイ
外国語大学
ダナン大学
フエ科学大学
貿易大学
ベトナム国家大学ハノイ
経済経営大学
ホーチミン市建築大学
ホーチミン市工業大学
(HUTECH)
ホーチミン市経済大学
ベトナム国家大学ホーチミン市
科学大学
ベトナム国家大学ハノイ
工科大学
ハノイ工科大学
ハノイ大学
ベトナム国家大学ホーチミン市
情報技術大学
カントー大学
フンイエン技術師範大学
ハイフォン大学
ホーチミン市工業大学 (IUH)
日越大学
トゥイロイ大学

カナダ *Canada*

プリティッシュ・コロンビア大学
アルバータ大学 ●
トロント大学 ●
ブロック大学 ●
ヨーク大学 ●
トレント大学 ●
プリンスエドワードアイランド大学 ●
ヴィクトリア大学 ●
BCI学生交換プログラム（ケベック） ●

アメリカ合衆国 *U.S.A.*

トルーマン州立大学 ●
ベイラー大学 ●
カリフォルニア大学デヴィス校 ● ●
ミシガン州立大学 ●
ボストン大学 ●
カリフォルニア州立大学イーストベイ校 ●
カリフォルニア大学サンディエゴ校 ●
ネバダ大学リノ校 ● ●
ボイシー州立大学 ●
サンホセ州立大学 ●
フォントボン大学 ●
サンディエゴ州立大学 ●
南カリフォルニア建築大学
ガステイパス・アドルフラス大学 ●
ウェストチェスター大学 ●
ウィスコンシン大学ミルウォーキー校 ●
ミネソタ州立大学マンケート校 ●
メタイル大学
ポートランド州立大学 ●
ウェストフィールド州立大学 ●
ユタ大学
ジョージ・メイソン大学 ●
ニュー・スクール大学
カンザス大学
ウィスコンシン大学リバーフォールズ校

アルゼンチン *Argentina*

国立ラプラタ大学

メキシコ *Mexico*

アナウアク大学
グアダハラ大学 ●

バハマ *Bahamas*

バハマ大学